



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月14日

上場会社名 児玉化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4222 URL <https://www.kodama-chemical.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)坪田 順一
 問合せ先責任者 (役職名)経理財務部長 (氏名)横山 治男 (TEL)050(3645)0121
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	11,001	12.1	563	130.3	497	275.7	377	139.7
2021年3月期第3四半期	9,812	△26.9	244	79.8	132	—	157	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 430百万円(592.8%) 2021年3月期第3四半期 62百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	44.64	24.22
2021年3月期第3四半期	22.03	13.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	12,657	4,322	28.2
2021年3月期	13,236	3,936	24.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 3,565百万円 2021年3月期 3,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,180	10.3	950	86.7	870	147.2	630	80.0	80.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	7,859,191株	2021年3月期	7,859,191株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	70,823株	2021年3月期	70,650株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	7,788,459株	2021年3月期3Q	6,235,764株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式との権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

(A種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	3.86	3.86
2022年3月期	—	—	—		
2022年3月期(予想)				5.12	5.12

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 8
(継続企業の前提に関する注記)	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P 8
(会計方針の変更)	P 9
(会計上の見積りの変更)	P 9
(セグメント情報)	P10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社会活動や事業活動が大きく制限を受ける一方で、ワクチン接種の普及や昨年9月末の緊急事態宣言解除など緩やかな持ち直しの動きも見られましたが、年末からのオミクロン株の爆発的な感染拡大や半導体不足、樹脂材料価格の高騰等による停滞もあり、足元は依然として予断を許さない状況が続いております。

なお、当社は、脱炭素化の要求やSDG'sの高まりによる環境重視と、テレワークの浸透や5GなどIT技術の高度化による市場・顧客ニーズから、ひとつは従来車やEVで必須となる軽量化を目的に、車載ボディ内部の金属代替部品や、熱・音マネジメントに使用される断熱・吸音インシュレーター系製品への供給を目指し、この度、CFRP/CFRTP、ナイロン+GF、ガラスウールなどの素材を用いて様々な製品需要に応えるため、それらの複合材成形を可能にする、開発及び量産を目的とする設備の導入を決定いたしました。

また、海外経済においても、一部で回復の期待はあるものの、サプライチェーンの混乱や資源価格の上昇など、不透明な状況が続いております。

この様な状況のなかで、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,001百万円(前年同四半期比12.1%増)と増収となり、営業利益は563百万円(前年同四半期比130.3%増)、経常利益は497百万円(前年同四半期比275.7%増)、税金等調整前四半期純利益は497百万円(前年同四半期比299.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は377百万円(前年同四半期比139.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 自動車部品事業

当事業の国内自動車部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で増産月また減産月があり、影響は残るものの、国内・海外向けSUV車を中心に増加いたしました。また、海外自動車部門におきましても、同様に新型コロナウイルスの影響は残る状況ではありますが、タイのECHO AUTOPARTS (THAILAND) CO., LTD. でも前年同四半期と比べ回復基調となり売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は6,194百万円(前年同四半期比14.7%増)、セグメント利益は351百万円(前年同四半期はセグメント損失57百万円)となりました。

② 住宅設備・冷機部品事業

当事業の国内住宅設備部門におきましては、緩やかな市場回復が見られ、住宅リフォーム需要が増加に転じたことによるオリジナル洗面化粧鏡の好調、引き続きのDIY等の巣籠り需要が好調継続したことにより、売上高は増加いたしました。また、海外冷機部品部門におきましては、タイのTHAI KODAMA CO., LTD. は冷機部品が順調に推移いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり売上高は微減となりました。ベトナムのTHAI KODAMA (VIETNAM) CO., LTD. は引き続き業務冷蔵庫用部品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は3,900百万円(前年同四半期比4.9%増)、セグメント利益は435百万円(前年同四半期比44.5%増)となりました。

③ アドバンスドマーケット事業

当事業におきましては、ゲームソフトパッケージの事業で、昨年需要期ほどの増加は無かったものの、新規に参入しましたIT機器事業や植物工場向けなどの事業の売上が寄与したことにより増収・増益となりました。

この結果、売上高は905百万円(前年同四半期比30.0%増)、セグメント利益は102百万円(前年同四半期比24.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は12,657百万円となり、前連結会計年度末に比べ579百万円の減少となりました。

資産では、流動資産は現金及び預金が借入金の返済等により350百万円減少し、固定資産が有形固定資産の建物及び構築物の償却により228百万円減少いたしました。

負債では、流動負債は短期借入金の減少等により623百万円減少し、固定負債は長期借入金等の減少等により341百万円減少いたしました。

純資産では、利益剰余金の増加等により385百万円増加いたしました。これらの結果、自己資本比率は28.2%（前連結会計年度末は24.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては、2021年8月12日公表の予想数値変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,953,287	1,834,191
受取手形及び売掛金	2,758,405	2,595,350
商品及び製品	377,526	354,841
仕掛品	211,901	221,800
原材料及び貯蔵品	576,170	588,548
その他	233,747	165,085
貸倒引当金	△17,852	△17,327
流動資産合計	6,093,187	5,742,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,889,988	5,845,782
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,760,775	△3,845,793
建物及び構築物(純額)	2,129,213	1,999,989
機械装置及び運搬具	7,918,830	7,984,197
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,853,690	△6,953,765
機械装置及び運搬具(純額)	1,065,140	1,030,432
土地	2,950,009	2,923,263
リース資産	637,606	611,121
減価償却累計額	△401,422	△432,404
リース資産(純額)	236,184	178,716
建設仮勘定	110,663	209,421
その他	2,990,845	2,960,203
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,776,681	△2,810,870
その他(純額)	214,163	149,333
有形固定資産合計	6,705,375	6,491,156
無形固定資産		
その他	94,946	104,384
無形固定資産合計	94,946	104,384
投資その他の資産		
投資有価証券	267,154	269,461
固定化営業債権	18,990	18,990
繰延税金資産	25,200	20,690
その他	85,982	64,174
貸倒引当金	△54,150	△54,150
投資その他の資産合計	343,177	319,165
固定資産合計	7,143,499	6,914,707
資産合計	13,236,686	12,657,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,828,332	1,741,356
電子記録債務	711,803	746,410
短期借入金	4,540,202	3,999,138
リース債務	73,801	69,956
未払法人税等	20,742	19,511
賞与引当金	83,133	128,462
環境対策引当金	7,174	6,364
その他	791,017	721,169
流動負債合計	8,056,209	7,432,371
固定負債		
長期借入金	723,617	468,815
リース債務	65,919	14,461
繰延税金負債	13,665	20,881
株式給付引当金	9,924	16,832
退職給付に係る負債	430,836	381,580
固定負債合計	1,243,964	902,571
負債合計	9,300,173	8,334,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,254,948	2,254,948
利益剰余金	841,416	1,189,044
自己株式	△59,081	△59,157
株主資本合計	3,137,283	3,484,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,002	23,511
為替換算調整勘定	41,151	22,197
退職給付に係る調整累計額	25,366	34,506
その他の包括利益累計額合計	88,521	80,215
非支配株主持分	710,709	757,203
純資産合計	3,936,513	4,322,254
負債純資産合計	13,236,686	12,657,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	9,812,998	11,001,022
売上原価	8,400,411	9,196,396
売上総利益	1,412,586	1,804,626
販売費及び一般管理費	1,167,983	1,241,344
営業利益	244,602	563,281
営業外収益		
受取利息	12,743	8,660
受取配当金	9,427	9,849
為替差益	1,557	—
その他	14,737	16,512
営業外収益合計	38,465	35,022
営業外費用		
支払利息	96,508	70,533
支払手数料	15,661	13,081
為替差損	—	10,337
その他	38,389	6,520
営業外費用合計	150,559	100,473
経常利益	132,507	497,830
特別利益		
債務免除益	303,485	—
固定資産売却益	1,439	—
特別利益合計	304,925	—
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	190,276	—
事業構造改善費用	73,078	—
固定資産売却損	7,612	—
特別損失合計	270,966	—
税金等調整前四半期純利益	166,466	497,830
法人税、住民税及び事業税	25,696	45,133
法人税等調整額	△7,067	7,039
法人税等合計	18,628	52,172
四半期純利益	147,837	445,657
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,794	67,873
親会社株主に帰属する四半期純利益	157,631	377,784

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	147,837	445,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,542	1,509
為替換算調整勘定	△120,704	△25,191
退職給付に係る調整額	△544	8,495
その他の包括利益合計	△85,705	△15,187
四半期包括利益	62,132	430,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,732	369,478
非支配株主に係る四半期包括利益	△60,600	60,991

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

2020年6月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、エンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合に対して第三者割当てにより募集株式(普通株式及びA種優先株式)を発行し、同組合から2020年6月30日付で、第三者割増資の払込を受けました。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,500,000千円増加いたしました。また、同定時株主総会の決議に基づき、2020年6月30日付で資本金の額4,843,856千円のうち4,743,856千円、資本準備金の額1,833,824千円を減少させ、その全額をその他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を4,261,164千円減少させ、繰越利益剰余金に振り替え、欠損補充を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当金(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年6月25日 定時株主総会	A優先株式	30,156	3.86	2021年3月21日	2021年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、一部の商品又は製品の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を算定いたしました。当該累積的影響額はないため、当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金にはこれを加減せずに、新たな会計方針を適用しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28 - 15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44 - 2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車部品 事業	住宅設備・冷機部品 事業	アドバンスドマーケ ット事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,398,799	3,717,596	696,602	9,812,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	194,511	469,270	—	663,781
計	5,593,310	4,186,866	696,602	10,476,779
セグメント利益又は損失(△)	△57,183	301,313	82,229	326,359

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	326,359
全社費用(注)	△120,285
未実現損益調整額	1,451
その他の調整額	△41,059
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	166,466

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、債務免除益及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車部品 事業	住宅設備・冷機部品 事業	アドバンスドマーケ ット事業	
売上高				
日本	3,635,350	2,495,568	905,624	7,036,542
東南アジア	2,559,494	1,404,984	—	3,964,479
顧客との契約から生じる収益	6,194,845	3,900,552	905,624	11,001,022
外部顧客への売上高	6,194,845	3,900,552	905,624	11,001,022
セグメント間の内部売上高又は振替高	196,091	597,210	—	793,302
計	6,390,937	4,497,763	905,624	11,794,324
セグメント利益	351,950	435,482	102,628	890,061

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	890,061
全社費用(注)	△393,902
未実現損益調整額	1,396
その他の調整額	274
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	497,830

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項
(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、従来「エンターテインメント事業」としていた報告セグメントの名称を「アドバンスドマーケット事業」に変更しております。報告セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結会計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で開示しております。